

概 要	○ 令和8年7月28日（火）1627頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生。 ○ 同日（28日）1730、熊本県知事から陸上自衛隊第8師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
自衛隊の 主な活動	○ 連絡員について、熊本県庁等に、延べ31箇所・約80名派遣。 ○ 航空機について、延べ20機態勢（固定翼：11機、回転翼9機）で航空偵察を実施。 ○ 陸上自衛隊第8偵察隊（北熊本・熊本）、陸上自衛隊第4偵察隊（福岡・福岡）の初動対処部隊が地上偵察を実施。 ○ 商業施設（イオンモール熊本）において、陸上自衛隊第8偵察隊（北熊本・熊本）及び陸上自衛隊第42即応機動連隊（北熊本・熊本）の人員約30名、車両約10両が活動を継続中。 ○ 陸上自衛隊別府駐屯地及び北熊本駐屯地を一時的な避難所として開放し、避難者の受け入れを開始。 ○ 給水支援のため、陸上自衛隊西部方面特科連隊（北熊本・熊本）が八代市役所へ前進中（人員約100名、水トレーラー4両含む車両約30両）。



主な航空偵察（延べ20機）	
陸	○ 延べ6機（固定翼機：1機、回転翼機：5機） 西部方面航空隊（目達原）のUH-1×2機及びUH-1×1機（ヘリ映伝）、西部方面航空隊（高遊原）のUH-60×2機、第1ヘリコプター団（木更津）のLR-2×1機
海	○ 延べ4機（固定翼機：3機、回転翼機：1機） 第22航空隊（大村）のSH-60×2機、第212教育航空隊（鹿屋）のP-1×1機及びSH-60×1機
空	○ 延べ10機（固定翼機：9機、回転翼機：1機） 第8航空団（築城）のF-2×5機、第5航空団（新田原）のF-15×2機及びT-4×1機、西部航空方面隊司令部支援飛行隊（春日）のT-4×1機、新田原救難隊（新田原）のUH-60×1機
連絡員派遣状況（延べ45か所・約110名）	
○ 延べ45か所に約110名の連絡員を派遣し、情報収集活動を実施	

活動の様子（7月28日）



UH-60が離陸する様子



指揮所開設



北熊本駐屯地を出発する初動対処部隊



福岡駐屯地を出発する連絡員



航空偵察に向かう隊員



地上偵察に向かう隊員